

第28回異文化交流サロン～食文化交歓交流～

4カ国の料理に舌鼓

文化交流委員

会

去る7月8日(日)に第28回目となる異文化交流サロンに参加させていただきました。梅雨とは思えない好天の中、コミュニティセンター治田東には多くの参加者の方が集われました。



食べるのはちょっと待って！
講師の方たちに講評を
聞いてから・・・

多種に渡る異文化交流サロンの中でも、食文化を通じた企画にはいつも参加者が多く、生活レベルでの交流には皆さんの関心も高いと感じます。



美味しそうに出来上がりー！

ザートのコーヒークッキーを指導していただき、仕込みから調理しました。いつものことながら、調理場は皆さんの熱気と料理の熱気でわんむんとしていました。



「厚焼き玉子を焼くには油が多いね」

今回は4カ国の料理を通じ交流が出来ました。韓国料理は林香順(リン ヒヤンスン)さんにお世話になりチヂミを、ペルー料理は谷口デボラさんが日本料理に例えるコロッケ風の料理を、日本料理は山口正子さんが手巻き寿司を、コロンビア料理はモントーヤさんご夫妻にデパートのコーヒークッキーを指導していただき、仕込みから調理しました。いつものことながら、調理場は皆さんの熱気と料理の熱気でわんむんとしていました。講師の皆さんは、日本語のお話ができる方でしたが、初めて見る調味料や、勝手の違う調理方法を教えてもらいながらの料理は大変ですが、楽しみでもあります。私はお邪魔にならないよう製作状況を見守りつつ、食事に向け心の準備を整えておりました。



雨の日には「チヂミでも食べようか」となるそうです。なるべく薄く焼くのがコツとのこと。



紐1本でハンドトルが持ち上がるって不思議！

食事会場では料理の説明や食べ方を改めて講師の方よりお話しの後、楽しく参加者の方それぞれが食を通じ交流できたと思います。

会場では参加者の方の本格的なマジックも披露いただき、また「琵琶湖就航の歌」を英語訳し、国内外へと音楽を通し普及されておられる今若さんも参加、「文化」に国境はないと再認識しました。楽しく・美味しくして異文化交流も出来るサロンに今後も多くの方の参加を期待します。



「バターと砂糖は分量どおりにきっちり！あとは適当で」とモントーヤさん。

す。 K・K

[レシピはこちら！](#)



松井 高

今年の4月から毎週水曜日午後には相談窓口（ポルトガル語通訳・翻訳）を担当することになりました松井高（まついたかし）と言います。遅ればせながらですが、皆さんよろしくお願ひします。

《社会を考える大切な仕事》

相談事業と言っても皆さんには少しピンと来ないかもしれませんが、とても地味なことをしていると思っている人も多いことでしょうか。私自身は最も大切な協会の事業の一つであると思っています。また、今私たちの社会がどこへ向かおうとしているのか考えさせられることが多いのもこの相談事業です。

《多い税に関する相談》

例えば、相談の中でも最も多いのが税金に関すること。相談窓口に来られる方の大半は南米国籍者なのですが、その多くは所得税が減税になったことを知らなかったり、通常の給与明細を見てもその内訳がよく分からないために所得税が毎月どれだけ差し引かれているのかということを知らなかったりすることが多く、今年の6月に突然住民税がアップしたことに驚いたようです。

《日本の物づくりを支える貴重な人たち》

また南米の方たちが勤めている会社のほとんどは派遣会社ですが、派遣会社の中には、年末調整で会社が税務署から受け取ったお金を本人に渡していないこともあります。日本人であれば社会保険が完備されていても、外国籍の人たちの場合、工場などで日本人の時間数以上働いていても社会保険（健康保険、厚生年金、雇用保険）に加入してもらえていないケースがほとんどです。けれども、そういったことを不正だと言えども簡単に首が切られてしまう。社会的に弱い立場にあります。こういった人たちが日本の物づくり（自動車、電機、半導体、化学、住宅建材など）を支える貴重な労働力となっているのですが、不条理な目に合うことが最も多い層であるとも言えるかもしれません。相談者の中には十代の母子家庭も珍しいことではありません。時間給800～900円で働き、幼い子を必死で育てている姿に触れば、

こういった人たちにこそ優しさのある社会になってほしいと心から願ひます。

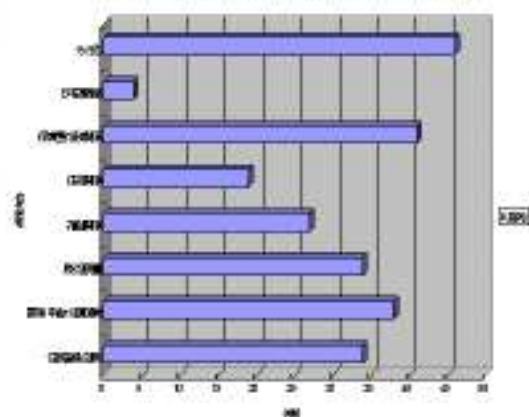
《格差社会の実態にふれて》

私はかつて、ブラジルのストリートチルドレン（路上生活をしている子ども）の実態を知ろうと出かけたことがあります。公園や住宅街の外れで生活し、小学生ぐらいの子どもでも昼間からドラッグにふけている様子が見られました。格差社会が抱える問題は、世代から世代への負の連鎖が起こることです。どれだけ働いても親の収入は増えない。安定した職がない。子どもの教育にかける時間と金銭が少ない。不安定な環境の中での子どもの学習モチベーションは下がり、また進学のための経済的余裕もない。努力しても報われない社会構造ができてしまう、それが格差社会の恐ろしさです。

海外のような極端な格差は広がっていないにしても、日本社会の中での格差も確実に進行していると、私自身この相談事業を通じて日々痛感していることです。「持ちつ持たれつ」という日本の伝統は薄れ、社会保障や教育の機会均等（例えば、外国籍の子どもの場合、義務教育とはなっていません）までもが崩れている現状は悲しいことです。

外国籍の人たちの暮らしの状況を少しでも知っていただき、国際交流のみならず国際化の取り組みについても充実してもらえよう。RIFAには期待しています。

平成8年度RIFA外国人相談窓口相談内容



オランダ スウェーデン を訪ねて ノルウェー

RIFA会員の宮城宏己さんご夫妻の北欧紀行の後編です。 妙由子さんは1年間の留学生活を終えて、8月4日無事帰国。高校生活最後の夏を楽しんでいます。



世界最長最深のソグネ・フィヨルド

最後の目的地 ノルウェーへ

最後の目的地ノルウェーへと移動しました。フィヨルドとは1万年位前氷河に削られたU字谷に海水が流れ込んでできた氷食谷の入り江。私たちの行ったフィヨルドは、世界最深の人気のあるソグネ・フィヨルドであります。

オスロから電車、登山列車、フェリー、バス、再び電車に乗り換え世界遺産の町ベルゲンに入るコースです。あいにくフィヨルドは雨でしたが、とにかく言葉や文字では言い表せないほどスケールが大きく大自然真っ只中にいるという感がありました。

物価の高い国 ノルウェー . . .

ノルウェーは、北欧の中でも一番物価が高い国で私の感では日本の3倍以上するような気がしました。ちなみに500ccのペットボトルの水が400円でした。



世界遺産 プリッゲンの町並み。
三角屋根が続き、まるでお伽のよう

もう一度訪れたい町 ベルゲン

最後の町ベルゲンは、私自身この旅行で初めて知った町なのですが、3カ国とも美しい国でしたが、その中でもイチオシはこのベルゲンであります。海があり山があり美しい町並み。機会があれば再び訪れたい町です。そして色々な思いを残し12日間の旅を終えベルゲン空港で娘と別れ、各々帰路につきました。



オスロ
王宮前の衛兵と
記念写真に納まる
妙由子さん

旅のエピローグ

この旅を通じて私自身感じたことは、普通に現在も使用しながら「この建物は200~300年前に建てられた」と平然と言えるヨーロッパの人々の誇りと歴史の深さを感じ取ることができました。しかし数多くの壁や看板や公共物への落書きが目立ったことがとても残念でありました。

最後に今回縁あって3カ国(ノルウェー以外)をホームステイで過ごさせてもらうことにより、その国の人たちの生活に入り込んで楽しい時間がもてたことが、私たちの何よりの思い出になりました。

機会があるならば是非もう一度訪れたい国々でした。

私たちはRIFAを応援しています

企画・デザイン



総合印刷

株式会社 スマイ印刷工業

SUMAI PRINTING CO., LTD.

SUMAI PRINTING CO., LTD.

本社・工場 〒520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2

TEL (077) 552-1045(代) FAX (077) 552-0890



栗東総合産業株式会社

Ritto Sogo Sangyo

〒520-3036 滋賀県栗東市十里244番地

TEL 077-558-1711(代) FAX 077-553-4710

URL <http://www.ritto.co.jp/> E-MAIL info@ritto.co.jp

人に地球にやさしい

ISO9001/14001ダブル認証取得

第7回衡陽市訪問使節団員募集

衡陽市で友好の絆を深めましょう

- 期 日：平成19年11月12日(月)～11月17日(土)の6日間
- 訪 問 先：中国湖南省衡陽市(衡陽市以外の訪問先及び行程については、調整中)
- 団員資格： 東東国際交流協会会員及び市民
- 募集人数： 3名(東東国際交流協会会員及び市民) [市代表・通訳等団員構成は7名]



- 経 費： 一人当たり約10万円(往復旅費・航空保険料等に充当)
- 主 催： 東東市・東東国際交流協会
- 9月28日(金)までに、東東国際交流協会へ申し込んでください。
- TEL 551-0293

衡陽市は湖南省の省都長沙市の南約200kmに位置している内陸都市。鉄道や道路など交通の要所で、産業、農業も盛んで、地下資源も豊富な都市。

表敬訪問を終え、表情を和らげる第6回使節団

日本語指導ボランティアにぜひ参加

RIFAでは日本語を勉強したいという外国籍のうちに月2回、日本語教室を開講しています。日本語指導に興味・関心のある方はボランティアになってみませんか。

指導はすべて日本語で行っています。

また、RIFAではノウハウを習得していただくため、日本語講師養成講座を開講しています(2月頃)。

詳細は東東国際交流協会へお尋ねください。TEL 551-0293

国際理解講座

日時：平成19年10月20日(土)
10:00～12:00

場所：なごやかセンター

講師：レフトサー・カテリーナ・寿恵さん
(フィンランド)

ト)

劉 穎(リョウエイ)さん(中国)

内容：文化や家庭の話しを伺います。

定員(50名)になり次第締切。

RIFA会員と小学生は無料(一般は200円)。

申込みは、東東国際交流協会へ

TEL 551-0293

日本語教室開講日は次のとおりです。

開講日時：原則第2・4土曜日

10:30～12:00

場 所：中央公民館 各種
団体室



民族衣装、それぞれのお国の
お菓子もお楽しみに!

第29回異文化交流サロンの参加者募集 甲賀市・湖南省 見所巡りバスツアー

- ◆期 日： 11月18日(日) 東東市役所発着(9:00出発 16:00頃帰着予定)
- ◆行 先： 甲賀の里忍着村 → 仙臺(昼食) → 紅葉の長寿寺
- ◆参 加 費： RIFA会員・外国籍住民 2,500円 一般 3,000円
小学生・幼児は別設定。申込み時にその旨、お伝えください。

い。

- ◆募集人数： 先着50名
- ◆受付開始： 9月18日(火)～ TEL 551-0293



(春夏秋冬)

今夏、大阪にて世界陸上が開催され、素晴らしい競技と感動を与えてくれました。そして、お首いを持ちあい心の通った交流を展開してくれました。そんな中で、広報「りっとう」9月号で東東国際交流協会の活動を取り上げてくれました。私たちは世界陸上のようなすばらしいファイティングは出来ませんが、地域社会の中で、日常生活を通してしっかりと心をつなぐことが出来るはずです。東東に多文化の花を咲かせましょう。(K)